

# 菅平生き物通信

発行者 筑波大学菅平高原実験センター 〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278-294 Tel 0268-74-2002  
Fax 0268-74-2016 ホームページ <http://www.sugadaira.tsukuba.ac.jp>  
E-mail: [ikimono@sugadaira.tsukuba.ac.jp](mailto:ikimono@sugadaira.tsukuba.ac.jp) ©2011 筑波大学菅平高原実験センター

## 高原の息吹を皆様に

センター長 沼田 治

東日本大震災の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

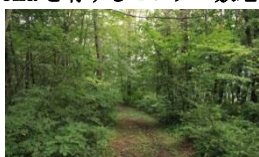
「菅平生き物通信」発行の目的に関して簡単に紹介させていただきます。二〇〇九年十月十二日に筑波大学菅平高原実験センターは75周年を迎えました。センターの35ヘクタールの敷地には、数多くの樹木が植えられた樹木園、75年前の菅平の姿を残す草原、そして草原を放置して植物遷移を進めた結果の若齢のアカマツ林、樹齢を更に重ねたアカマツと広葉樹の混交林、約70年以上の林齢の広葉樹があります。この広葉樹林の中を流れる大明神の沢には大明神の滝が轟音をとどろかせています。このような自然が残っているセンターでは、教職員と学生たちが協力して、植物、菌類、昆虫などを研究材料として、



大明神の滝



35haを有するセンター敷地



アカマツ林内観察道



実験用草原

生態学、分類学、発生学の教育や研究を進めたいです。「菅平生き物通信」

配布拡大の挨拶

センターの活動を十分に紹介する機会がありませんでした。そこで、幾つかの試みを開始しました。その一つが「菅平生き物通信」の発行です。スタッフ一同、菅平高原の四季折々の素晴らしさ、その中で生活する生物たちの面白い営み、そしてセンターで行われている教育や研究の紹介記事などを皆様の「ご家庭にお送りした」と思っています。生き物通信」をお読みになり、ぜひお返事をください。お待たせしております。お礼申し上げます。既に第7号から、皆様の下へ配布されておりますが、挨拶が遅れ申しております。誠に申し訳ありません。

新聞への折り込みを実現して下さった東郷堂さん、そして熱心な読者の皆様に心からお礼申し上げます。既に第7号から、皆様の下へ配布されておりますが、挨拶が遅れ申しております。誠に申し訳ありません。

センターの活動「菅平生き物通信」で取り上げた記事をお持ち帰りして欲しい話題などございましたら、是非、センターにもお寄せください。お待ちしております。なお「生き物通信第1号から6号」までのバックナンバーは、センターホームページからダウンロードすることができます。ホームページをご覧にならない方は、センターまでご連絡ください。



林内にセンサーカメラ設置



野生の哺乳類

### 職員紹介

「第48回全日本スキー技術選手権大会」参加報告

技術職員 正木 大祐



### 競技中の筆者



性であり、直接観察することが難しいです。日中に活動する動物でも、人の気配に敏感で、近づくことすら難しいものも少なくありません。そこで大変便利なのが、無人でも観察対象の動物を感知し、その姿を画像として自動で記録可能なセンサーカメラです。この装置を利用した自動撮影法は、野生動物の生息調査において主要な方法の一つです。本センターの学生実習では、1月に行われた実習で初めて導入されました。今回は、残念ながら動物たちの姿を捉えられませんが、方法を改善することで、次回は多くの動物に出会えると確信しています。その成果は、追ってご報告いたします。

3月7日〜11日まで、白馬村八方尾根スキー場にて行われた「第48回全日本スキー技術選手権大会」に職員の皆さんからのご支援、ご協力をいただき、いくつかの合宿に参加できました。その結果、今大会は自分の技術を向上させること、フリーができて、自信を持って大会に臨めました。その結果、今大会は自分の力を発揮し、昨年の順位を大幅に上回ることでできたことで悔いはありません。また、来年への課題も見つけることができました有意義な大会に

十分な時間があてられず、シーズン当初は不安なことばかりでした。ですが、職員の皆さんからのご支援、ご協力をいただき、いくつかの合宿に参加できました。その結果、今大会は自分の技術を向上させること、フリーができて、自信を持って大会に臨めました。その結果、今大会は自分の力を発揮し、昨年の順位を大幅に上回ることでできたことで悔いはありません。また、来年への課題も見つけることができました有意義な大会に

菅平高原実験センターには多くの学生が実習に訪れます。冬季は体育学群の学生がスキー実習でセンターを利用する機会もありますので、そういった実習にも自分の経験を活かして携わっていただけると考えています。「週末スキー」を目指して、これからも頑張ります。第48回技術選手権大会」

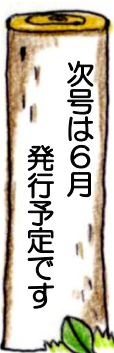
(池田雅子)

学生によるセンサーカメラの設置



学生によるセンサーカメラの設置

菅平高原実験センターで働くよう頑張ります。第48回技術選手権大会」



次号は6月発行予定です。郷堂さんにご協力いただいております。